

6月定例議会 一般質問

6月定例市議会の19日、一般質問が行われました。日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)は、暮らしの要求実現へ質問を行いました。



国土交通省の通達に沿い、危険踏切の早期安全対策を

JRびわこ線の「柿の木原踏切」や「新踏切」は鉄道敷部分に歩道がなく危険です。歩道設置の要望にも、JRは「近隣の踏切閉鎖が条件」と頑なに否定しています。小菅市議は、国土交通省が出した『新踏切拡幅基準』では、『歩道が狭小な場合は、統廃合を行わず歩道整備を実施できる』と基準が緩和されたことを明らかにし、踏み切りの安全対策を行うよう求めました。この基準緩和により、危険踏切の安全対策が進んでいる例がありません。改めて、「市が、JRに強く要望活動を行うよう」求めました。

住環境・青少年、地元商業対策へ、イオンの「24時間営業」に規制を

来年春にオープンを予定しているイオンが「24時間営業」を申請しています。小菅市議は、「住環境や地元商業対策から、24時間営業をしないための指導と確約をとるべき」と求めました。市は「イオンに文書で申し入れる。県にも大店法に基く意見書を提出する」との答弁でした。

教育基本法改悪、市長・教育長「今後の審議を見守る」の見解

憲法改悪と一体にすすめられようとしている教育基本法の改悪の動きについて、市長・教育長とも、「今後の審議を見守る」として、憲法と内心の自由を侵し、また、戦争のできる国を狙う動きに見解を避けました。

市・議会と市民全体で、野洲病院の小児科日曜診療を守ろう

滋賀医大が医師の派遣中止を表明しているため、小児科日曜診療が廃止の危機に。「市・議会、また、市民が一体となって存続を」と市長に迫りました。

野並享子市議 ↑ 小菅六雄市議

子育て支援へ、保育園の3人目の保育料無料化を

野並市議は、子育て支援へ、三人目の保育料無料化を要求しました。市は、「現在、少子化対策のなかで、検討している」という答弁でした。

4700万円で通院医療費無料化(中学校卒業まで)は実施可能

入院の場合は、来年1月から中学校卒業まで無料化されます。同時に、「通院での実施」を求めました。通院無料化は約4700万円で実施可能です。しかし、答弁は「通院での実施は考えていない」でした。

市長も「障害者自立支援制度」の『設計ミス』を認める

共同作業所の賃金よりも、「利用料」の方が多いという、根本欠陥の「自立支援制度」です。市としての補助制度を求めました。市長は、「設計ミス」の制度であることを認めました。今後、「アンケート調査をし、どのようなものが必要か検討する」と答弁しました。

地下水汚染源調査を「費用がかかる」と否定的答弁

四塩化炭素など地下水汚染源の特定と地下水保全条例の制定を求めました。しかし、「汚染源特定の調査をするには、膨大な費用がかかる」と否定的答弁。保全条例は、「市のできる範囲を検討している」と言う内容で、どこまで市民の安全・安心を任せられるか疑問があります。

「障害者自立支援制度」の欠陥を市長も認めました。早期に、「利用料の軽減・免除制度」を実施すべきです



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年6月18日 86

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市会議員 **小菅六雄** (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 **野並享子** (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) s_k_nonami@yahoo.co.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~nonami/